

きょうの C.V.D.I.P

II テモテ 2章 5～6節

また、競技をするときも、規定に従って競技をしなければ栄冠を得ることはできません。労苦した農夫こそ、まず第一に収穫の分け前にあずかるべきです。

神の子どもは、どんな場合であっても契約をのがしてはいけません。死の陰の谷を歩くことがあっても、火の中に入ることがあってもです。神様が約束された契約は、絶対に変わらずに成就するからです。これが、私たちがどんな場合にも契約と契約に集中する力をのがしてはならない理由です。

契約を握った人は、いつもあらかじめ答えを受けました。神様はそのように契約を握った人々に、彼らを通して世の中の枠を変えて生かすビジョンを見せてくださいました。私たちがまた、神様が聖書に記録された証人のように、神様の契約を握るよう準備された神の子どもです。それゆえ、問題や危機が訪れて、たとえ死ぬようなことになっても、揺れることなくみことば、祈り、伝道の流れを見ることが出来ます。そのとき、神様の力を直接体験することになるでしょう。

これからは、私たちが受けた契約を握って、契約に従って毎日祈りで作品を作りましょう。絶対に心配することも思い煩う必要もありません。今日から神様がくださった契約、ビジョン、夢、イメージと作品 (C.V.D.I.P) の答えと証拠の中で、まことの契約の旅を歩むレムナントになりましょう。



うのみことば



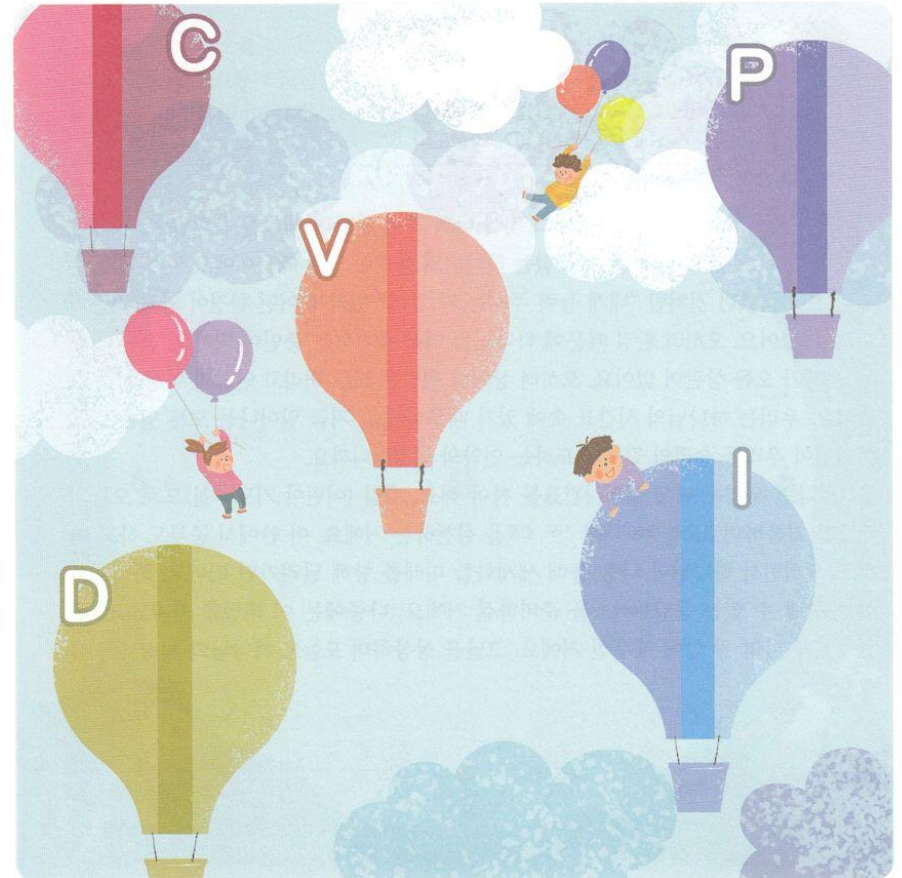
のいのり

神様、ありがとうございます。問題と事件に関係なく、たしかな契約と理由を持って C.V.D.I.P に挑戦することができませんように。生きておられるイエス・キリストのお名前によってお祈りします。アーメン



書いてみよう

神様に私の C.V.D.I.P を質問して、記録しましょう。



きょうのでんどう

会う人

準備する資料

Grid area for writing the prayer.

Blank lines for writing preparation materials.

かみさまの じこくひょう

でんどうしや
伝道者の書
3章 11節

かみ 神のなさることは、すべて時になつて美しい。神はまた、人の心に永遠を^{あた}えられた。しかし人は、神が行なわれるみわざを、初めから終わりまで^み見きわめることができない。

わたし 私たちがレムナントの時期に神様のことが私のことになるならば、世界を動かすようになります。世の中が与えることのできない、また、まねをすることもできない神様の力があるからです。このような人は、パウロが告白したように「私を強くしてくださいる方によって」どんな環境がきても簡単に勝つことができます。かえって、その環境ゆえに神様をより一層あかしする証人になります。答えが来ても、問題が来ても、関係ありません。かえって傷や不平不満をすべて捨てて、契約の旅程を歩むことができます。私たちは神様の時刻表の中にいるからです。いま起きているすべてのことは、結局、神様が私たちを勝利の道に導いておられる契約の旅程なのです。

そのため、私たちはいまこの時、実践のスケジュールを組まなければなりません。毎日子ども祈りの手帳で今日の伝道を記録して3つの今日(今日のみことば、祈り、伝道)を実践しましょう。その中で勉強して、礼拝をささげながら神様が私を通して世界化される未来に向かって走っていけば良いのです。神様が誰もできない答え(Nobody)を備えておられます。後には、この奥義を持って全世界237か国の王の前に立つときがきます。その日を想像して、今日も神様の時刻表を慕い求めましょう。



きょうのみことば



いのり

かみさま 神様、ありがとうございます。かみさま 神様の時刻表どおりに、わたし みちび 神様を導いてくださり、未来を備えてくださっていることを感謝します。生きておられるイエス・キリストのお名前によってお祈りします。アーメン



みことばを
てまよう
適用しよう

かみさま じこくひょう かんが 神様の時刻表を考えながら、きょうの私のスケジュールを^き決めましょう。



きょうの でんどう

あひと
会う人

じゆんび
準備する資料

えいえんの ふくいんうんどう

ローマ
16章 27節

知恵に富む唯一の神に、イエス・キリストによって、御栄えがとこしえまでありますように。アーメン。

この地の問題は、何でしょうか。最初の人(さいしょ)が神様(かみさま)を離れたゆえにもたらされたサタンとわざわい、地獄(じごく)の背景(はいけい)です。この問題は、絶対に他のことでは解決(かいけつ)できません。また、誰も止めることはできません。これを止めることができるのはキリスト(かみ)の国(くに)、ただ聖霊(せいれい)だけです。ここに三位一体(さんみいつたい)の神様(かみさま)の奥義(おくぎ)があります。このように、私(わたし)たちは世(よ)の中(なか)の人がとうてい知(し)ることのできな

い永遠(えいえん)の事(こと)を持つ神(かみ)の子(こ)どもです。ですから、いま私(わたし)たちは世(よ)の中(なか)を生(な)かす天命(てんめい)を握(にぎ)らなければなりません。福音(ふくいん)を持つ人(ひと)だけが世界(せかい)を生(な)かす福音運動(ふくいんうんどう)ができるからです。ここに召命(しょうめい)、使命(しめい)がついてきます。すると神様(かみさま)の時刻表(じこくひょう)の中で、天(てん)の御座(みざ)の背景(はいけい)と神(かみ)の国(くに)の権威(けんい)が私(わたし)に臨(ま)むでしょう。神様(かみさま)が直接(ちよくせつ)なさるこの永遠(えいえん)の福音運動(ふくいんうんどう)の中で、今日(けふ)を始め(はじ)ましょう。



みことばを
適用(てきよう)しよう

永遠(えいえん)の福音運動(ふくいんうんどう)、みことば運動(うんどう)、伝道運動(でんどううんどう)の中で、今日(けふ)、福音(ふくいん)を伝える友(とも)だちのために祈(いの)りましょう。



きょうのみことば



きょうのいのり

神様(かみさま)、ありがとうございます。永遠(えいえん)の福音運動(ふくいんうんどう)の祝福(しゆく)の中で、神様(かみさま)がともにおられる恵(めぐ)みを味わ(あじ)い、世(よ)の中(なか)を生(な)かす証(あかし)が与(あた)えられますように。生きておられるイエス・キリストのお名前(なまえ)によって祈(いの)ります。アーメン



きょうのでんどう

あひと
会う人

じゆんび
準備する資料

ローマ
16章 25節

わたしの福音とイエス・キリストの宣教によって、すなわち、世々にわたって長い間隠されていたが

私たちはどこへ行くにも、先に霊的な奥義について押さえておかなければなりません。神様を信じるということはつまり、霊的な奥義を確保することです。神様をご覧になるとき、最も重要なことだからです。そのために、私たちの考えは定刻祈りの中で形成されたものでなければなりません。すると、世の中を越えた常識以上のことを握るようになります。そのとき出てくる感謝によって、私たちは神様がくださる霊的な答えの確信へたどり着くことができます。そして、聖書のレムナント7人（ヨセフ、モーセ、サムエル、ダビデ、エリシャ、イザヤ、パウロ）のように、これから来る答えをあらかじめ握るようになります。このように握った契約が、世界福音化をする契約ならば、少しの間揺れていても大丈夫です。私たちが握ったその契約のために、神様がすばやくそこから戻されるでしょう。そのときからついてくる祝福があります。目に見える位置よりさらに重要な霊的な位置を確保できるようになります。それとともにすべてのこの中で、霊的事実を悟って、神様の計画を見るようになります。これを霊的サミットと言います。年齢的には幼いのですが、霊的には大統領になるということです。

今日から再び霊的な奥義を味わうことができるように挑戦しましょう。

どうのみことば



神様、ありがとうございます。霊的な奥義のためのサミットタイムを持って、霊的大統領に挑戦する力を与えてください。生きておられるイエス・キリストのお名前によってお祈りします。アーメン



なやんでいます

今月のなやみはなんでしょう

パク・ウヨン牧師夫人！
わたし、なやんでいます！

霊的な奥義を見る霊的な目を持ちたいです。
なにを、どのようにしたらよいかわかりません。

最初に、いっしょに霊的な奥義とは何か調べてみましょう。
霊的な世界について、聖書だけが正確に記録しています。まず、生きておられる神様と、神様のおられる天国があります。そこには神様に賛美をささげて、神様のみこころを成し遂げる御使いもともにいます（詩 103:20-22）
また、別の霊的な世界が地上にあります。目に見えないのですが、神様に敵対して追いつかれた、御使いの長でありながらも墮落した悪魔（サタン）と悪霊、（黙 12:7、9）そして、彼らが行く地獄があります。（マタ 25:41）
どのようにすれば、霊的世界を見る目が開かれるのでしょうか。とても簡単なことで、難しくありません。神様のみことばを信じれば良いのです。神様のみことばを信じるためには、聖書を楽しみながら読んで、黙想して、神様のみことばを約束として握って祈れば良いです。するとある日、神様の恵みで霊的な世界があることを、心から信じられるようになります。そのとき、信仰の目で霊的な世界を見ることができるようです。
ダビデもこの目が開かれて、神様の奇しいことを見るように祈りました。（詩 119:18）ダビデのようにこの目が開かれることを願う私たちは、いっしょに祈りましょう。



どうのでんどう

あひと
会う人

じゆんび
準備する資料

Blank lines for writing names and materials.

しゅうちゅう

詩篇

150篇6節

息のあるものはみな、主をほめたたえよ。ハレルヤ。

契約は、世の中の多くの人を救うために、神様が私たちにくださった約束です。私たちは、この契約の旅を歩んでいます。その旅を実現させるまできなモデルです。私たちはすでに世界福音化というビジョンも定めています。ここで神様が私にだけ備えられた契約の旅を見つけていくことが、私たちに与えられた役割です。

いま、いつも契約の旅とビジョンを考へる中で、すべきことがあります。集中とは、ただ一つのポイントを持つことです。私たちに最も重要な集中は、霊的な部分を生かすことです。霊的部分が生かされる時、すべてが回復するからです。今日、私の霊的状态に集中して、完全に霊的部分を生かすことができる実践をしましょう。



ようのみことば



どうのいのり

神様、ありがとうございます。すでに伝えてくださった絶対計画の中で、霊的部分を生かす一日になりますように。生きておられるイエス・キリストの名前によってお祈りします。アーメン



みことばを適用しよう

私の霊的部分を生かす霊的サミットタイムを送る方法を見つけて記録して実践しましょう。

日時	場所	持続時間	方法
			例) 賛美を聞く、みことば記録、メッセージ書き起こしなど



きょうのでんどう

会う人

準備する資料



じゅうような こたえを はっけんする かんがえの しゅうかん

使徒
1章8節

しかし、聖霊があなたがたの上に臨まれるとき、あなたがたは力を受けます。そして、エルサレム、ユダヤとサマリアの全土、および地の果てにまで、わたしの証人となります。

私たちはまだ幼くて「いまの私にできることはあまり多くない」と考えることがあります。それは事実ですが、このような考えが習慣になれば、おとなになっても「私はこうだからできない」と考えるようになります。こうなってしまうと、神様が備えてくださった重要な答えを発見することはできません。

いまこそ私たちは、重要な答えを発見する考えの習慣を持たなければなりません。「私は幼いけれど、どのようにすれば、このことをやり遂げることができるだろうか」また「どんな人に助けをもらえば解決できるだろうか」と考えましょう。その習慣が私たちの態度になって、福音の中ではてしなく成長することができます。

それとともに、これから毎日このように考えましょう。「一、十字架ですべての問題を終わらせて神様のみことばをみな成し遂げられたイエス・キリストが、私の主人です。それゆえ私は心配することがありません。二、神様は私にこの福音が地の果てまで伝えられる証人の約束をくださいました。それゆえ、どんなことが起こっても、どんな人に出会っても、指導者の考えと習慣、生活の態度を身につけて未来を準備します」ということです。この考えの習慣が祈りになって、重要な神様の導きを受けられるようになるでしょう。



きょうのみことば

Blank lines for writing the daily verse.

きょうのいのり

神様、ありがとうございます。神様が備えられた答えをのがさないように、考えの習慣を変えることができますように。生きておられるイエス・キリストのお名前によってお祈りします。アーメン



私たちの話すことばには、神様が喜ばれる考えの習慣に基づくものと、神様が悲しまれる考えの習慣に基づくものがあります。吹き出しの中に私のいつもの考えとことばを書いてみましょう。



きょうのでんどう

あひと
会う人

じゅんび
準備する資料

Blank lines for writing the daily devotion and materials.